

令和7年第2回定例会

一 般 質 問

古殿町議会

令和7年第2回定例会一般質問通告書順

日付	順 番	議 員 名	党 名
6 月 18 . 19 日	1	鈴 木 隆	無 所 属
	2	根 本 重 一	無 所 属
	3	野 崎 喜 彦	無 所 属
	4	佐 藤 一 夫	無 所 属
	5	木 戸 久 康	無 所 属
	6	松 崎 法 通	無 所 属
	7	岡 部 淳 一	日本共産党

番号	質問者	質問事項	要 旨
1	3 番 鈴木 隆	<p>1. 町内企業等に就業や共住されている外国籍の方々の把握について</p> <p>(町 長)</p> <p>2. 健康保険証とマイナンバーカード一体化について</p> <p>(町 長)</p> <p>3. わが町の観光資源の今後の展望と課題について</p> <p>(町 長)</p>	<p>(1) 現在、町内の方との婚姻や町の事業に携わる方々を除き、何名の外国籍の方々がいるのか。</p> <p>(2) 全ての雇用主、就業内容、居住先等を把握しているか。</p> <p>(3) ゴミ出しや生活習慣の違い等から町民とのトラブル等はあったか。</p> <p>(4) 個人情報保護の観点から難しさもあるが、どのような管理、把握をしているのか。</p> <p>(5) その把握情報を地区行政区長等と共有しているのか。</p> <p>(1) 現在マイナンバーカードを持たれている町民の紐づけの状況はどのようなか。</p> <p>(2) マイナンバーカードを持たれていない町民すべてが「資格確認書」を有しているのか。</p> <p>(3) マイナンバーカードなどの利点を窓口などで町民に対して継続説明しているか。</p> <p>(4) 残された期間が差し迫る中、「広報ふるどの」、防災行政無線、町ホームページ等で現在、情報発信していないように感じられるが、これからの対応はどのようなか。</p> <p>(1) 各受託団体に対する費用や管理内容などを話し合いにより見直す答弁をされているが、その後の対応は。</p> <p>(2) 町のシンボルとも言える「鎌倉岳遊歩道」通行止区間の復旧が未だ行われていないが何故か。</p> <p>(3) 1年前の答弁で「鎌倉岳遊歩道」案内板の見直しを明言されているが現状は。</p> <p>(4) 魅力ある観光資源を活用しつつ交流人口、関連人口を様々なイベント等で拡大し、移住定住につなげることが地方創生の観点から重要と思うが、実質的な施策は何と考えるか。</p> <p>(5) その施策の結果の実績は。</p>

番号	質問者	質問事項	要 旨
2	1 番 根本 重一	<p>1. 本町の少子化対策について</p> <p>(町 長)</p> <p>2. 本町の伝統民俗芸能の継承と振興について</p> <p>(町長・教育長)</p>	<p>(1) 現在の出生数減少をどのように認識されていますか。</p> <p>(2) 赤ちゃん誕生祝金実施後の効果は、どのように検証されていますか。</p> <p>(3) 結婚新生活事業補助金などの結婚支援の拡充予定はありますか。</p> <p>(4) 「入学祝い金」など教育関連支援について導入検討はされていますか。</p> <p>(5) 児童手当、通学補助など子育て家庭に対する経済的支援の拡充余地はありますか。</p> <p>(6) こども園、小中学校など子育て環境整備について、改善予定はありますか。</p> <p>(7) 若年層の定住促進に向けた住宅取得支援の新たな取組はありますか。</p> <p>(8) 他町村と連携した広域的な少子化対策の取組はありますか。</p> <p>(9) ジェンダーギャップと若い女性の流出をどのように認識されていますか。</p> <p>(10) ふくしま創生総合戦略における「とも家事」をどのように認識されていますか。</p> <p>(1) 地域に残る伝統民俗芸能の継承状況をどのように把握していますか。</p> <p>(2) 担い手確保に向けた育成策や支援制度は検討されていますか。</p> <p>(3) 伝統民俗芸能団体への助成金や支援制度を拡充する予定はありますか。</p> <p>(4) 伝統民俗芸能の映像・資料のアーカイブ化や記録保存について、町の方針はありますか。</p> <p>(5) 伝統民俗芸能を観光コンテンツとして、町内観光と結びつける考えはありますか。</p>

番号	質問者	質問事項	要 旨
3	4 番 野崎 喜彦	<p>1. 急激な人口減少と超高齢化社会への対応策について</p> <p>(町 長)</p>	<p>(1) 孤独死が社会問題化しているが、当町における近況の発生事例の把握は。</p> <p>(2) 介護保険サービスとしての「配食」、「見守り」、「買い物支援」などの日常生活支援の実態は。</p> <p>(3) 「地域包括ケアシステム」の利用状況と現状はどうか。</p> <p>(4) 「緊急通報システム」の設置状況と稼働・利用実績の把握は。</p> <p>(5) 「高齢者居住施設」の利用状況は。</p> <p>(6) 当町の出生数及び転入・転出者数の現状は。(令和2年度から6年度)</p>
		<p>2. 地場産業の振興と活性化の推進について</p> <p>(町 長)</p>	<p>(1) 当町の2025年産の米作付けの意向(5月24日の新聞報道)で増加の見通しとしているが、面積と数量見込みは。</p> <p>(2) 国に報告した「地域計画」の作成中、10年後の米作を中心とした耕作者の確保状況、作付けの意向、方向性はどうか整理されたか。</p> <p>(3) 道の駅の売りに並ぶ野菜などの地場産品の品目、数量が年々減少傾向にあるようだが、その対応策は。</p> <p>(4) 活性化への基軸としての期待が大きい「道の駅の拡張計画」だが、建物などの実施計画までの流れはどの段階にあるのか。</p>

番号	質問者	質問事項	要 旨
4	6 番 佐藤 一夫	1. 今後の林業対策について (町 長)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 長年取り組んできた千年の森育成事業の成果と評価は。 (2) 町内の林業の実態をどう捉えているのか。また、課題は。 (3) 県が実施している森林経営管理制度とはどのようなものか。また、この制度の町の対応は。 (4) 近年、皆伐された山林を見かけるが、皆伐後は植林し管理されないと補助金の対象とならないが、皆伐するだけでも補助金対象にできないか。 (5) 町内にバイオ発電事業者があり、チップ需要が高まっています。民間事業者とタイアップしてチップ工場の建設は考えていないか。
5	8 番 木戸 久康	1. 今後の町づくりと道の駅の進捗状況は (町 長)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 5期目と6期目の就任挨拶に「ひとづくり」「くらしづくり」「まちづくり」「産業づくり」「体制づくり」とあるが、具体的にどういう内容か。 (2) 5期目から現在まで土地買収で議会の議決を得た件数及び場所は。 (3) 道の駅の進捗状況はどうなっているのか。
6	9 番 松崎 法通	1. 災害についての備えと対応を問う (町 長)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 規模の大きな広域災害発生時、わが町だけでは対処が困難な場合、自治体の域を越えた対策が必要だが、その点は万全か。 (2) 主要地方道いわき石川線で令和元年、台風19号で冠水した前木、水沼周辺の河川改修を町は県にどのように要望しているのか。 (3) 毎年、河川の堆砂除去をしているが、竹貫から横川周辺の堆砂の除去は町としてどのように考えているのか。 (4) 災害時における医療関係者、土木関係者をはじめ、炊き出しなど人手が多数必要な場合を想定した人手の確保は考えているのか。

番号	質問者	質問事項	要 旨
6	9 番 松崎 法通	2. これまでの名誉町民への対応を問う (町 長)	(1) これまでの名誉町民に推戴された方々は、どのような功績があり推戴されたのか。 (2) 町として、名誉町民に推戴した方々に対し、その後どのように対応してきたのか。 (3) 名誉町民として推戴された人たちを町内外の人たちに知ってもらいたいと思うが、どのように考えているのか。
7	7 番 岡部 淳一	1. 人口減少の中で若者定着促進の方向性は (町 長)	(1) 若者や女性が県外に流出している現状の認識は。 (2) なぜ都市部に流出するのか。その原因はどこにあると考えるべきなのか。 (3) 高校生、専門学校生、大学生への教育費の負担軽減策は何か。 (4) 町内への移住、定住策として取り組んでいる施策は何か。 (5) 町内及び石川管内での企業案内、紹介、斡旋等の取組は。 (6) 町出身者、若者が町に戻り起業する場合、支援する考えはあるか。 (7) 人口減少対策に打つべき策はあるか。
		2. 国民健康保険内容の目まぐるしい変化への認識と対応 (町 長)	(1) 県内で進められている国保平準化とは、どんな内容なのか。 (2) 県内同一保険料でわが町は上がるのか下がるのか。 (3) 上がった場合の負担増は町民の負担となるのか。 (4) マイナンバーを取得していない人の資格確認書とはどんなものか。 (5) 資格確認書はどんな手順で発行されるのか。 (6) 税金滞納者に対する対応はこれまでどおりか。 (7) マイナンバーの問題点が指摘され、紙の保険証継続の声も大きい。認識は。